

委員からの意見

本日欠席された委員より、三重県新エネルギービジョン（中間案）に対するご意見をいただきましたので、以下にまとめました。

NO	対象 ページ	ご意見
1		<p>少し前から災害時において、「自助」「共助」の重要性がいわれてきた。エネルギーにおいても、使用する人が、エネルギーが無限ではないことを再認識して、現状の「事業・生活」を継続していくのか、または、変化させていくのかを選択し、エネルギーの供給を自身で考える事を「日常化」していく社会に醸成していく事が大切だと思っている。</p> <p>県民への情報周知、情報の共有が大切である。</p>
2	P11	<p>基本理念の考え方を「アイコン」で表現したことで「何の為に」「何をするか」がわかりやすくなった。これに、「誰が」という主語が加わると役割分担が見えてくると考える。</p> <p>例えば、すでに四角型のアイコンがあるため、県民・事業者・行政の丸型アイコンとして、誰が取り組んでいくのかを、概要版など県民が目にする事が多いリーフレットなどで見える化出来れば、わかりやすく読んでもらえるツールになるのではと考える。</p>
3	P29	<p>「(1)家庭への省エネ・節電の普及啓発及びエネルギー効率の高い設備等の導入促進 ①環境教育」について、環境教育に関しては学校教育が重要である。そのためには学校への講師派遣などが大事であるが、教師への教育はもっと重要と考える。</p> <p>教師への教育については、教育委員会とタイアップして研修制度を活用するなど、効率的な教育が求められる。</p>
4	P56	<p>温室効果ガスに関する用語解説について、「京都議定書では・・・の6種類とされています」と説明されているが、現在は三フッ化窒素（NF3）が加わり7種類になっている。</p>
5	P64	<p>パリ協定に関する用語解説について、「平成10（1997）年12月」は、「平成9（1997）年12月」の誤りである。</p>

